

次期出雲市総合振興計画「出雲新話2030」（素案）に対する意見（パブリックコメント）と対応

1. 意見募集期間 令和4年6月8日～7月7日
2. 意見の提出者数 8人
3. 意見数 36件

※意見は長文のため、一部抜粋、要約しているものがあります。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
1	—	全般	案件に対するご意見用紙にどの項目に対してかわかるように計画(素案)書のページ番号を記入して下さいとありますが、この素案を基に構成されて最終的な振興計画が出来るものだと提案をしていますが、この素案が全てではない、と思います。	ご意見は参考とさせていただきます。
2	—	全般	最初に思ったことは、市長メッセージが無いことです。出雲市の将来像をどう描くか、新しい人口減対策、地元企業の発展と誘致、広域観光連携やコロナ後の住みよい社会体制、デジタル社会、環境問題等・・・市長がどのような想いで出雲市を引っ張っていくのかある程度の将来像を示して欲しいと思います。	議案の中で、構想本体に掲載し、一体としてお示しします。（時期は市長答申後）（資料3 No. 2に重複）
3	—	全般	ワクチン接種では国の指示を待つのではなく、自治体独自の工夫をして欲しい。再度検討し将来の感染症対策も安心安全な戦略的施策を入れる必要があるのではないのでしょうか。出雲市独自の感染予防施策を示して欲しいと思います。	ご意見は参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
4	—	全般	今後は感染症だけでなく、巨大地震や大型台風などの発生も予想されている。こういった災厄の後、どのように地域の経済を早期に立ち直らせるか。関連する新しい産業をどう育てるのかなど地域の持続可能性を高める計画を事前に練っておくべきだと思う。新次元の国土を戦略的に記載することを提案します。	ご意見は参考とさせていただきます。
5	—	全般	若者が減り活力を失いつつある周辺部をどう支えていくのか、改めて各地域の特性を見極め、効果的な投資によって市全体を俯瞰したまちづくりを進める必要があると思います。	ご意見は参考とさせていただきます。
6	—	全般	それぞれの地域で若者を地域づくりに参画させて、新しい感覚と方法で将来ビジョンをつくり、それを実現させていく仕組みを作るべきである。それぞれの地域には、自然と人の歴史がつくりだしたかけがえのない価値や文化がある。継承しなければ地域が壊れてしまう様々な営みもある。そういう守らなければならないものを大事にしながらその価値を生かしていく新しい試みが大切だと思います。	ご意見は参考とさせていただきます。
7	—	全般	本市でも「地域の未来を自分たちで・・・」と住民が独自計画を作っている伊野地区は、70人以上が参加し議論している。計画したのは、10年～20年後の暮らしを描く独自計画で教育、医療、福祉、暮らし、農水産業、移住、定住の7分野でまとめた冊子も作成している。今後これを具体的に実践できるような計画づくりをして欲しいと思う。	ご意見は参考とさせていただきます。
8	—	全般	人口が減少した地域での問題は、水道や道路、交通、病院、スタンド、日常生活に必要なものを売る店、スーパー、ATM等が無くなって人の流失が進み、高齢者のみの地域などがあるが、更に行政サービス、福祉や介護の低下、これをどのように解決するのか、それぞれ業種ごとに縦割りだが、ローカールマネジメント団体、法人等の創設を考えても良いと思う。	ご意見は参考とさせていただきます。
9	—	全般	出雲市だけは、どこにも負けないこんな強みがある。そんな地域の根っこを作り上げていくこと、それが地域の宝、地域のブランドではないでしょうか？	ご意見は参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
10	—	全般	物事もそうですが地域だけでなく、世界へグローバルな人材育成が大切だと思います。国際インターナショナル学校が出雲市にもあっても良いのではないのでしょうか。山陰で外国人が一番多い出雲市なのに・・・全寮制、英語による授業、外国人教員、国際的教科、全世界から学びに来るインターナショナル学園の創設は、出雲市が世界で認知される都市として今後必ず必要になると思います。世界のリーダーを出雲で育てること、出雲のリーダーを育てることが必要ではないでしょうか？	「23 人が地域を。地域が人を育てる」に盛り込んで記載しています。
11	—	全般	地域住民からは、災害時の状況や道路や河川の情報、新たな観光地や文化に役立つ情報等を地域住民や市町行政に提供する。地域の課題解決に行政が出向くことなく情報の伝達出来る、デジタルで中山間地域振興の展望を描くべきである。また、生涯学習にも役立つ耳で聴くことが出来る「オーディオブック」や、要約がデジタルコンテンツで提供されるサービスがあるが、今後ますます利用者が増えると思う。もちろん様々な本や雑誌も読めるし、医療や福祉など専門家からの講義も受けることが出来るデジタル社会はさらに発展すると思うので、本市に置いても中心的な核と位置づけまちづくりを進めて欲しいと思います。	「21 デジタルの力で未来をデザイン」に盛り込んで記載しています。
12	—	全般	飯塚市長は、市長のフォトレポートは数日に1回ですし、担当職員さんが記載されています。他の市長さんと比べてさぞかしご多忙だとは存じますが、市長の考えた、感じたことが記載されないのは、かなり寂しいです。また、毎月の広報誌を拝見してもその方向性や町づくりのワクワク感が伝わってきません。更にコロナ感染防止は毎回表紙に必ずあってもいいと思います。重要度の順番が違っているように感じます。	ご意見は参考とさせていただきます。
13	—	全般	まちづくりは人づくりと良く言われます。さてその「ひとづくり」を地域はしているのでしょうか？ 地方創生は、人材育成が全ての原点だと思います。このようなひとづくりは出雲市の将来を変えます。ぜひひとづくり計画も具体的に入れて欲しいと思います。	「23 人が地域を、地域が人を育てるに」に盛り込んで記載しています。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
14	—	全般	これからは、市民一人一人が提案型市民主役事業化するものを制度化し、出雲市がいくつもの魅力ある日本一のふるさとになって頂きたいと思います。公共的な事業の一部を市民の提案に基づき、委託又は民営化する制度を創設していただければ良いまちづくりなるのではないかと思います。その人材として若い人、中学生や高校生の活用や女性の参画を進めて欲しいものです。行政もこれまでの感覚では首をかしげてしまうような提案にも耳を傾けて、対応しサポートする形に変えられたらと思います。若い人の発想力でまちづくりジェンダー平等そしてまちづくりそして持続可能なまちづくりSDGsの推進を全市で進めていってほしいと思います。	ご意見は参考とさせていただきます。
15	—	全般	様々なジャンルや課題、地域にかかわる総合的な「持続可能な足腰の強い地域経済圏域」創造に向けた政策の立案と実行計画を要望する。計画策定に向けては市内の資金の回り具合の調査(産業連関表、LM3)を実施し現状を把握した上で取り組んでいただきたい。 「持続可能な足腰の強い地域経済圏域」創りを進めるのにあたり、下記のような幅広い取り組みが可能になると考える。 ・カーボンオフセットの推進（市外からのものの移動が減り市内での調達が増えることから） ・SDGsの取り組み→「⑪住み続けられるまちづくり」 ・リサイクルの促進→環境にやさしく、出雲市の独自の産業化を進める。 ・デジタル技術の活用→出雲市内での資金循環を進め、お金の流れを明確にするために、「デジタル地域通貨」の導入 ・出雲「ブランド」を高める。強い地域経済圏域による発信、「地消地産」からなる新たな地場産業の立ち上げ。 ・強い地域経済圏域→雇用を生み、U・Iターンなどの若者人口増にも繋がる。 ・子供への教育、地域のことを知り地元を愛す、大人になった時に地域の活力として地元の強い経済の中で働いて欲しい。 ・地元を意識した街づくりは、周りの顔が見え、住みやすい街づくりに繋がる。 ・地域の中で、共に手を取り合い支え合う共生していく社会創り。お年寄りや困った方への寄り添い。	個別の取組については、基本計画の中で記載し、目標値（KPI（重要業績評価指標））を設定します。そして、毎年点検・評価検証を実施することとし、必要に応じて施策内容や目標値を見直し、より効率的で効果的な施策を実施します。ご提案いただいた内容については、今後施策展開する中で、担当課で検討します。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
16	p 3	基本構想	出雲弁が入っていない。ユーモアが無い。 (夕陽を見る写真)を使って、吹き出しに声を書く。 右の女性「イガ～」 左の女性「ソゲ～」 日本夕陽百選	説明をつけていない写真は、基本的に、「出雲力フォトコンテスト」の写真であり、吹き出しの対応は、予定していません。
17	p 2 9	ともに創る	「05「人財力」で地域産業を前へ」について、“人財”という語句を使用するのをやめてほしい。人財という語句は、辞書に載っておらず、かぎ括弧で括っているとはいえ、やはり不適切だと思います。また、人を誰か他の者や団体の資産・財貨のように扱うイメージがあります。自分が住む自治体の計画に、このような語句を使用されるのは、市民として極めて残念に思いますので、表現を改めるようにお願いします。 同封しました SNSのコピーもご参照ください。	”人財”は「人を大切に思う」イメージとして使っています。
18	p 3 1	ともに守る	出雲弁が入っていない。ユーモアが無い。 「朱鷺(とき)」のイラストを使って、吹き出しに声を書く。 上の朱鷺「どこ行く？」 下の朱鷺「ケッそこんところ」 豊かな自然を守る	イラストへの吹き出しの対応は、予定していません。
19	p 3 1	ともに守る	2030年までにCO2の排出量削減46%以上の達成 目標達成が全く見通せない。具体策と行程を明確に示すことが不可欠である。	今年度策定する「出雲市環境総合計画」において検討します。
20	p 3 2	ともに守る	安全な「かわ・みち」づくり 集中豪雨が多発している今日、農地がどんどん減少しているため排水促進できない。農地の転用を抑制すべきである。	優良な農地の確保・保全により、農業の健全な発展を図る「農業振興地域の整備に関する法律」の趣旨に則り、適正に判断する。
21	p 3 3	ともに守る	再生可能エネルギーや蓄電池などの導入及び利用促進が全く見通せない。具体策はどうか。	今年度策定する「出雲市環境総合計画」において検討します。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
22	p 3 3	ともに守る	CO2排出削減に向けた取組を促進 取り組み内容はどうか。	今年度策定する「出雲市環境総合計画」において検討します。
23	p 3 3	ともに守る	森林の間伐と境界の明確をどのように進めていくか。 過去から様々な課題があり見通せない。	基本構想には入れませんが、今後施策展開する 中で、担当課で検討します。
24	p 3 3	ともに守る	3 Rで資源の循環を 3 Rの取組みは市民も努力しているが、肝心なのはトレー、プラスチックの生 産・使用を抑制することである。そのような方針、動きが全くない。	今年度策定する「出雲市環境総合計画」において 検討します。
25	p 3 3	ともに守る	自然環境を保全し、景観を保護するために市景観条例が制定されているが、条例 の景観形成基準に違反して、市自ら新体育館をあの場所に建設を進めているのは 甚だ問題である。「豊かな自然環境を次世代へ」を掲げる資格はない。	ご意見は参考とさせていただきます。
26	p 3 4	ともに結ぶ	出雲弁が無い ユーモアも無い 結婚式のイラストの吹き出しを書く（風船） 「※セレンディピティ？」 「そげ」 ※思いがけない幸運な出会いがある町	イラストへの吹き出しの対応は、予定していま せん。
27	p 3 5	ともに結ぶ	物語を表現する バス停の女性と自転車の男性 吹き出しを書く 女性「この写真の神社」 男性「どこ行く？」 ←・・・左のイラストへ 2人は結ばれる	イラストへの吹き出しの対応は、予定していま せん。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
28	p 3 7	ともに結ぶ	出雲市の将来構想にある新たなネットワーク、山陰のハブ空港・更なる利用促進のためには、現出雲空港の高度な安全化の取り組みを進める時代に入ったかと思えます。 このままの施設機能で運用していくことは、拡大する路線数、航空旅客の増加、物流の増加などから、いずれ運航上の制約等も生じてきて、交通ネットワーク形成の面からも支障が生じてくると考えます。 よって、島根県と出雲市の連携のもと、「出雲空港の高度な安全化に向けた取り組み」を推進されるべきと考えます。	基本構想には入れませんが、今後施策展開する中で、空港施設の整備や安全性の確保について、県に働きかけるとともに、連携して取り組みを進めていきます。
29	p 4 2	ともに支える	13 「産みたい」「育てたい」を応援 ・人口減少が進む中で、行政の重要課題は「子育て」支援と考えます。積極的な支援(例：高校までの医療費無料化など)により、未婚者の減少、出生者の増加等に結び付き、地域内経済にもプラス効果があると考えます。子育て支援がより重要であるという表記が必要では。	基本構想には入れませんが、今後施策展開する中で、担当課で検討します。
30	p 4 6	ともに支える	19 地域とともに持続可能な中山間地域を ・中山間地域に新たな風をor 安心して住み続けられる中山間地域を 中山間地域の人口減少が増しているなかで、支援員・協力隊制度のみでなく、住民自治運営組織の育成、中心市街地から中山間地域への人口移動施策(低家賃の若者住宅など)1 歩も2 歩も踏み込んだ記述をすべきである。住民主体という考え方が基調となっていると思いますが、中山間地域の人口減少対策(平成の合併の弊害)は、「支援」という言葉で解決できない部分もありますので「協働」していく姿勢(危機感)を感じられる表記の仕方を考えてください。 ・中山間地域のポテンシャルを生かす 交流人口に加え関係人口も追記 ・地域支援員の目的の明確化(定住促進専門など)、地域おこし協力隊の積極的拡充をお願いします。	基本構想には入れませんが、今後施策展開する中で、担当課で検討します。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
31	p 4 6	ともに支える	「地域とともに持続可能な中山間地域を」の中で、「佐田地域の公共施設のほとんどが、平田地区の避難所に指定されているので、維持整備が不可欠である。」と追記されたい。	基本構想には入れませんが、今後施策展開する中で、担当課で検討します。
32	p 5 5	ともに育む	3. 出雲らしい優れた景観を生かしたまちづくり(提案) (提案理由) 出雲市は、海、山、川など豊かな自然的景観に恵まれると共に、市内各所に歴史的・文化的景観も数多く存在しています。また、出雲平野の特徴的な景観である築地松などの農村景観が地域固有の地域資源となっています。また、発展する市街地エリア及び周辺地域にも新たな景観が創造され、出雲市の新たな魅力を創出しています。 この優れた景観は、持続的に、育て、創り、次世代にも継承していくことが重要です。 つまり、人とひととの協働の中で創り出し、それを守っていくことが、地域づくりに大きな力になっていくと考えます。 このことから、今回の計画の中に「(案)市民一人ひとりの参加による豊かな景観にあふれるまちづくり」を追加していただくよう提案します。 《ともに育む》 23. 人が地域を、地域が人を育てる (市民一人一人の参加による豊かな景観にあふれるまちづくり) 出雲らしい個性的で魅力あるまちづくりを推進し、豊かな地域社会の創造と文化の向上を目指す取り組みを進める。	「20 出雲のインフラを整え『安心』を支える」の「出雲らしい景観を守りぬく」に盛り込んで記載しています。
33	p 6 5	エリア別将来像 ともに結ぶ	今回の出雲市の構想に挙げておられる「中心市街地形成エリア」が、良好な都市空間として、また、都市内の拠点を円滑に連携させるため、2つの懸念事項の改善が必要と考えます。 ①点目：出雲市総合振興計画の中に盛り込まれました出雲市駅付近連続立体交差事業(第2期区間)の事業化の取り組みは、その実現によって大きな効果を発揮すると考えます。 ②点目：特に、国道9号(9号バイパス)の位置する周辺部の渋滞対策(特に、南北、併せて東西)を構想に追加して具体的な方策を進めて頂きたいと考えます。	「20 出雲のインフラを整え『安心』を支える」に盛り込んで記載しています。

No.	ページ	項目	意 見	対 応
34	p 6 6	エリア別将来像	田園景観と住空間の共存エリア 「築地松や田園がおりなす景観と文化を大切にのこし～」とあるが、このエリアに新体育館建設が進んでいる。 これは市景観条例の景観形成基準に反した建築物である。このエリアにはふさわしくない。	ご意見は参考とさせていただきます。
35	p 6 6	エリア別将来像	交流人口・関係人口増進エリア このエリアは市の北部と南部に分かれており広範囲である。 なぜこの広範囲なエリアが該当するのかが理解できない。 市南部のエリア全体が交流人口・関係人口増進エリアとなりうるのか極めて疑問である。	ご意見は参考とさせていただきます。
36	p 6 6	エリア別将来像	どのエリアも広範囲すぎて無理矢理どこかのエリアに入れたとしか思えない。また将来像の内容が雑すぎて描けない。各エリア内の市民は関心を持ってみるのであらうが、これで納得が得られるのか。根本的に練り直すべきである。	ご意見は参考とさせていただきます。